

おとな字  
トレーニング

講師

小高 桃果さん



美人林 樹齢約90年のブナが美しい立ち姿をみせる（新潟県十日町市）

〈テーマ〉

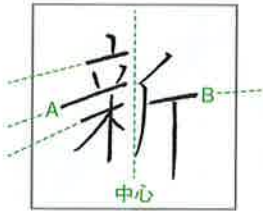
一本の線の長さ、角度をよく観察して描きましょう。

新緑の季節を迎え

なぞって書いてみましょう。

新緑の季節を迎え

ワンポイントアドバイス



AとBのバランスに気を付けて

左側の「偏」部分が右上がりになっていることをよく観察しましょう。右手で左から右にゆっくりと送る線は、左側は右上がり強く、右に行けばいくほど、緩やかに、円弧を描くようなイメージで書きます。この自然な円弧を心掛けることで、美しい「おとな字」になります。また、AとBでバランスをとっていることも見逃さないでください。

小高 桃果（おだか・とうか）

硬筆書道の先駆者である三上秋果の元で長年にわたり研さん。2006年、日本ペン習字研究会理事。2013年「4週間で美しく書ける！ボールペンおとな字練習帳」（日本文芸社）を上梓。著作多数。よみうりカルチャー大森講師。

新緑を迎え、あらゆるものの芽吹きを感じる日々となりました。こんなすてきな季節には、窓をいっぱいに向け放ち、涼やかに渡る風を感じながら、新茶などをいただくのも風流ですね。そして、穏やかな心で、一枚のがきにメッセージを書き留める――。あなたの大切な人にとつて、うれしいプレゼントとなるでしょう。